

初めての栽培を応援

園芸
入門

草花編

カラフルな花と抜群の花付き
世界中で愛されるジニア
「プロフェュージョン」

| 作型図 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|----------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| 寒地 / 寒冷地 | | | | | ● | | | ● | | | | |
| 温暖地 | | | | ● | | | ● | | | | | |
| 暖地 | | | ● | | | | ● | | | | | |

● まきどき ● 開花期

※栽培方法・時期は目安です。適温でのタネまき、地域や条件に合わせた栽培をおすすめします。

草姿が乱れたら切り戻すと秋まで楽しめます

おすすめアイテム

＼ タネ ／

ジニア
プロフェュージョン ミックス

※タネ袋のデザインは変更することがあります。

＼ タネまき資材 ／

ジフィーセブン
(そのまま植えられる土ポット)

＼ 培養土 ／



花三昧®

基礎情報

| | |
|------|---------|
| 分類 | キク科 |
| 用途 | 地植え／鉢植え |
| 日当たり | 日なた |
| 耐暑性 | 強 |
| 耐寒性 | 弱 |

タネをまく前に
毎回確認! タネまき基本3チェック

☑ 気温をチェック

気温が高過ぎても低過ぎてもうまく発芽できません。天気予報などで気温を確認してからタネをまきましよう。特に春は日中暖かくても夜は冷えるので注意してください。

☑ 土の厚さをチェック

発芽するときに光を好むもの、嫌うもの、どちらでもいいものがあります。必ずチェックしてからまきましよう。

☑ 土が乾燥していないかチェック

タネまき後、発芽まではこまめに水やりしてください。発芽するまで乾燥は厳禁。ジョウロでの水やりでタネが流されそうな場合は霧吹きを使ってください。

手順

1

タネまき



「ジフィーセブン」をトレーに入れてたっぷりの水で膨らませます。



「ジフィーセブン」の中央部を割り箸で軽くほぐします。



タネを2〜3粒まきます。



割り箸で土を優しくかけます。

発芽適温は20〜25℃。タネは大きくまきやすいので、土を入れた箱（育苗箱）にタネをまくこともできますが、「ジフィーセブン」を使うと楽にまけます。

「ジフィーセブン」にタネを2〜3粒まき、表面に土を5mm程度かけます。上から水をやるとタネが流されてしまうので、発芽するまでは底から吸わせるようにします。発芽日数は7日前後。発芽するまでは乾かさないうち注意しましょう。発芽がそろったら受け皿の水は捨て、乾いてきたら吸水させるようにすれば、根張りのよいしっかりした苗に育ちます。

ジフィーセブンってなに？

中央のくぼみにタネをまき、芽が出たらそのまま植え付けできるタネまきお助けアイテムです。タネまき用土など特別に用意しなくてもタネまきが手軽にできます！

水につけ、吸水させて
使用します



手順

2

間引き

葉が触れ合うようになったら生育のよい苗を残して間引きます。



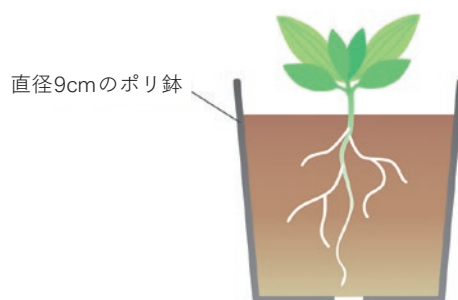
手順

3

仮植え

本葉2〜4枚になったら植え付けの適期です。

「ジフィーセブン」より一回り大きなポリ鉢（直径9cm程度）に植え付けましょう。土は初期肥料配合済みでそのまま使える「花三昧」がおすすめです。10日くらいたち、よく根付いたら、屋外でよく日に当てて育てます。

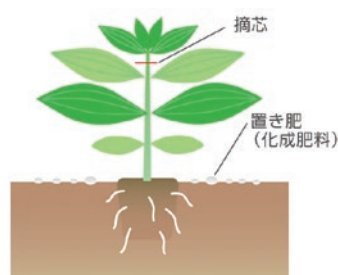


手順

4

定植

ポットに根が回ったら定植しましょう。茎が伸びだしたら茎の上部を切る（摘芯）と、枝が多くなり花数も増えます。植え付けの間隔は20〜25cm。プランターの場合は、15〜20cm間隔に植え付けます。開花期の長い花なので、肥料を切らさないように植物の様子を見ながら施しましょう。連作すると立枯病が発生しやすいので注意します。



手順

5

切り戻し

草姿が乱れたら株元から3分の1程度残し、全体を切り戻すと、若い枝が再生してまた楽しめます。

